

# 山口市公共交通利用促進協議会

## 趣 意 書

山口商工会議所では、2023年度の基本方針として「SDGsはオール山口から」を掲げ、山口市内全域での経済循環を推進することを決定しました。この基本方針に基づき、中小企業・小規模事業者支援施策、交流人口増加施策、定住人口増加施策などの基本施策を進めていますが、山口市の公共交通の課題解決を同時並行で進める事が、施策成否の重要な要素となっています。

山口市における公共交通の課題は、車社会が根強く公共交通の利用が進まないことにあります。県土一時間構想の下、山口市を起点に県内各地への道路交通網が整備され、車での移動が極めて便利になったことは大きな成果です。反面、公共交通網の発達には逆風となりました。また、少子高齢化が進むにつれ、交通弱者対策も十分とは言えない状況にあります。山口市を訪れる観光客にとっても便利な公共交通の整備は喫緊の課題です。これらの課題を解決するためには、例えばバス路線の再構築や本数の増加、車の利用を減らすための利便性の向上など、総合的な取り組みが必要です。山口市は車社会が根強く、駐車場不足や道路渋滞が深刻な問題となっています。これらの問題は一朝一夕に解決できることではありませんが、「脱炭素」の推進や「ウォークアブルな市街地形成」を推進する商工会議所として、経済界が公共交通の利用促進に向け今こそ力を合わせ、解決に向けて動くことが必要であると考えます。

このため、私たちは「山口市公共交通利用促進協議会」を発足させ、山口市内での公共交通の利用促進に向け協力することを目的とします。また、関係者とよく協力して、山口市内全域における公共交通網の充実に向けて取り組んで参りたいと存じます。

令和5年5月15日

山口商工会議所